

講座番号

23

一般市民向け

対面

はじめての教育学

募集期間	8月期	令和8年6月1日(月)～30日(火)	
講座概要	コロナ禍で学校が休みとなり、オンライン授業を受けた子どもたち。コロナが明けても、それでもなお学校に「行く」意義はどこにあるのでしょうか。ゴッフマンの相互行為論から考えます。		
目的	・コロナ以降の学校に行く意義を、ゴッフマンの相互行為論の視点から考えます		
講師	高松 みどり	所属	総合教育系 初等教育部門
受講対象	一般市民向け		
受講料	3300円	定員	20名
実施方法	対面 (全1回)	開催方法	天王寺キャンパス
注意事項			
持参物			
備考			

回	日程	時間	内容
1	8月3日(月)	9:00 ～ 10:00	プリントの説明

～講師プロフィール～

高松 みどり（総合教育系 初等教育部門）

教育哲学専門で、大阪教育大学では「教育総論」「道德教育論」を担当しています。